



2012年3月16日

報道関係者各位

一般財団法人 日本ガス機器検査協会(JIA)

JIA-QAセンターは、2012年3月16日付で、公益財団法人 日本適合性認定協会(JAB)から「食品安全システム認証(FSSC 22000)」の認証機関として、認定を取得しました。

JIA-QAセンター(JIAに設けられたマネジメントシステム認証機関 理事長:木村文彦、所在地:東京都港区赤坂4-1-10)は、2011年8月にFSSC 22000の認証を開始し、このたび次の4分野でJABから認定を取得しました。

- C:加工1(腐敗しやすい動物性食品)
- D:加工2(腐敗しやすい植物性食品)
- E:常温での長期保存食品
- L:(生化学)化学品製造

FSSC 22000は、食の安全管理を厳格に求める規格であり、食品製造、流通大手が調達先に認証取得を勧める動きが広がっています。JIA-QAセンターでは、既に2件のFSSC 22000の認証実績がありますが、JABから認定を受けたことを契機として、今後一層、認証の拡大に努めてまいります。

■食品安全システム認証(FSSC 22000:Food Safety System Certification 22000)の概要
FSSC 22000は、食品安全マネジメントシステムの国際規格ISO 22000をベースに、食品製造事業者向けにはPAS 220、食品包装材製造事業者向けにはPAS 223といった個別の技術仕様書等が適用された規格です。従って、ISO 22000よりも、具体的に食品安全管理への取り組みが推進できる規格として食品関連業界から注目されております。欧米の小売り大手がFSSC 22000の認証取得を取引条件とするケースが増加しており、FSSC 22000の認証取得により取引上大変有利になります。

また、JIA-QAセンターは、母体であるJIAがガス機器の安全検査から事業を開始し、事業展開しているため、マネジメントシステム認証での食品安全に対しても真剣に取り組む姿勢を受け継ぎ、現場確認重視の審査を提供しています。また、食品安全については、FSSC 22000の“システム認証”だけでなく、食品工場の機器の“製品認証(公衆衛生に関する米国規格)”に基づく工場審査を行ってきており、ここで培ったダブルチェックのノウハウも有しています。

■お問い合わせ先

JIA-QAセンター 企画情報部 企画広報グループ TEL:03-5570-9562
〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目4番10号 FAX:03-5570-9566

【補足1】 JIA-QAセンター

JIA-QAセンターは、一般財団法人日本ガス機器検査協会(JIA)内に設置された認証機関です。本財団は、1967年にガス機器の安全性を検査する第三者機関として設立された認証機関であり、ガス機器等の検査で培った認証の知識、技能を核に事業を拡大し、ISOマネジメントシステム認証を行う機関として、日本適合性認定協会(JAB)から国内で4番目に認定を取得しています。品質、環境、食品安全、労働安全衛生の各マネジメントシステムの認証を行い、最近では、エネルギーマネジメントシステム(ISO 50001)、食品システム認証(FSSC 22000)に事業を拡大し、JABに認定された47機関の認証件数56,827(品質・環境計、2012年2月)の中で9番目のシェア占めています。製品の安全性の検証業務で培った“技術専門家集団”として、“現場主義”を徹底する審査を実施しています。

財団のその他の事業としては、土壌調査、森林認証CoC、温室効果ガス排出量検証などの環境分野にも進出し、「安全から地球環境までトータルソリューションの提供」を実現することを目標としています。

【補足2】 公益財団法人日本適合性認定協会(JAB)

「公益財団法人 日本適合性認定協会(略称 JAB)」は、適合性評価制度全般に関わる認定機関として、平成5年11月、品質マネジメントシステム認証制度における認定機関「財団法人 日本品質システム審査登録認定協会」として、日本工業標準調査会の答申に基づき、発足した純民間の非営利法人です。マネジメントシステム認証機関、製品認証機関、温室効果ガス妥当性確認・検証機関、試験所及び検査機関の認定等を行うことにより、日本における適合性評価制度および諸外国との相互承認体制の確立・発展、産業経済の健全な発展に寄与することを目的としています。

[参考] JIA-QAセンター関連事業

温室効果ガス(GHG)排出量検証(東京都総量削減義務と排出量取引制度)

JIAの検証実績は表のとおりであり、対象となる事業所全体の約一割の検証を行っています。昨年度は、区分番号1(特定ガス・基準量)において、地域冷暖房事業所の半数、区分番号6(トップレベル事業所等(工場等)の認定基準への適合の検証)において、認定された全工場等の半数の検証を実施しています。

区分番号	区分名称	2010年度実施	2011年度実施
1	特定ガス・基準量	115	129
2	都内外削減量	0	2
5	優良事業所基準(第1区分):建築物等 (トップレベル事業所等)	3	2
6	優良事業所基準(第2区分):工場等 (トップレベル事業所等)	3	1
	計	121	134

カーボンフットプリント(CFP)

国の環境関連事業に対しても、私たちがより貢献できるものを選択して、積極的に参加させて頂く所存です。2011年度は、環境ラベル(タイプⅢ)の経験を活かし、経済産業省から社団法人産業環境管理協会が受託している、「カーボンフットプリント制度試行事業」の「検証機関による個品別検証に関する実証実験」に国内系検証機関(2機関)の1つとして参加しています。2012年度は、システム認証の機関として、CFP制度に参加する予定です。

以上